

2026 年度文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2026 年度スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「映像学部」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【文芸】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
映像学科	6	2	2

【スポーツ】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
映像学科	1	1	1

2. 試験内容

映像学部では、文化・芸術やスポーツ分野での優れた活動実績を持ち、映像学部での学びと将来の進路へとその力を発揮できることを期待して、本入試方式においては、面接と併せて口頭試問を実施しました。第2次選考の口頭試問は、入学試験要項に記載している「口頭試問の概要」にもとづき実施しました。映像学部で映像について学ぶことへの動機と、学習のみならずクリエイティブな活動と対外的な発信に向けた意欲、さらに映像に関わる将来の進路ビジョンに重点を置いて行いました。また、解答するにあたっては、自らの経験や実績に照らして、具体的に応答することを促しました。

【映像学部入学試験要項「口頭試問の概要」より】

映像学部のアドミッション・ポリシーやカリキュラムへの理解度を確認します。口頭試問では、映像学部で映像について学ぶことへの動機と具体的な学習計画、さらに将来の展望や目標などを問います。あわせて、それらを自らの経験や実績に照らしながら論理的に説明する能力を問います。

3. 出題意図

口頭試問では、映像分野への興味と関心を持ち映像学部への入学を志望するにいたる動機と、入学後の映像学部での活動計画、および将来の進路について、これまでの学習や活動歴にもとづいた具体的な考えを問いました。これにより、経験から得た資質と、それに裏付けられた学びの意欲と意思を評価することを意図しました。

4. 評価ポイント

志望動機、学習の計画、進路の展望について抽象的な解答ではなく、自らの経験や実績に照らして具体的に構成され、論理的に応答できているかどうかを重視しました。

映像学部での学習内容や方法について十分に理解した上で、それらと整合性をもって、入学後の学習や制作など諸活動の計画が具体的に想定されているか、またそれらを踏まえた将来像を描いているのかに着目しました。解答状況を総合的に判断し、論理的説明力および映像を本学で学ぶ動機と意欲を評価しました。

5. 解答状況

受験生は、これまで取り組んできた文化・芸術活動またはスポーツ活動における経験や実績を踏まえ、映像学部への志望動機や入学後の展望を具体的に答えることができ、映像学部のカリキュラムや開講科目について理解していることが確認できました。学部ホームページや SNS、パンフレットなどの内容の確認やオープンキャンパスなどのイベントへの参加を通じて、映像学部での学びや活動に関して積極的に情報収集を行っていることが伺えます。さらに、そうした理解に基づき、自らの入学後の学びの計画と将来の展望について具体的に述べるできていました。また、自身の経験や将来的な展望を見据えて、具体的にどのような科目を受講し、何をテーマに研究または作品制作に取り組みたいか、どのような活動をしてみたいかを説明できた受験生もいました。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

重要な点は大きく 2 点です。第 1 に映像学部について十分に理解を深めてください。入学試験要項や学部のパンフレットなどの出版物では、アドミッション・ポリシーやカリキュラムあるいは主な授業科目などについて、分かりやすく説明しています。また、映像学部ホームページや SNS では、受験生が入学後のイメージを得やすいように、在学生の多様な活動について学生自らの目線と声も取り入れて、多くの情報を発信しています。さらに、「立命館映像展」や「EIZO JUNCTION×キャリアフェア」、あるいはゼミごとに行われる発表会などの学部生の成果発信の機会に積極的に参加し、作品と研究に直に触れることを通じて、映像学部の学びを理解してください。

第 2 に、これまでの自らの経験や活動を振り返り、現在の関心と将来の希望を明らかにすると同時に、映像学部での学びを自分の成長にいかにか活かしていくのかを考えてください。その上で、映像学部で何を学びたいのかについて、具体的な目標を立てて受験に臨んでください。自分の得意分野や長所を映像と関連付けて、映像学部の学びの中で、どのように自分を伸ばすことができるか、あるいは、伸ばしていきたいのかを考えてみてください。

7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

映像学部は様々な形態の表現活動に関わる学部であることから、自分と向き合い、自らの経験に則して具体的に思考し体得したものと将来の展望とを結び付け、自分の言葉でしっかりと他者に伝達することを大切にしてほしいと考えております。そのために、映像学部の全般について十分に理解し、納得した上で受験に臨めるよう、受験希望者には、オープンキャンパスをはじめ「立命館映像展」や「EIZO JUNCTION×キャリアフェア」といった学部が開催するイベントへのより積極的な参加を促していただければと思います。

また、受験生へのアドバイスとも重複しますが、受験生の知識や経験を多面的に映像と結び付けて進路を見据えながら、自分自身の長所や得意分野を映像学部の学びの中でいかに伸ばしていくのかについて受験生自身が考えていただけるよう、ご指導をお願いいたします。

以上